

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

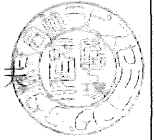
宮崎市長 殿



提出者 ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場

住 所 宮崎市清武町木原727番地

氏 名 取締役工場長 木村 偉作



(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0985-85-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場
事業場の所在地	宮崎市清武町木原727番地
計画期間	令和5年4月1日より令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電子デバイス製造業(半導体素子製造業)
②事業の規模	製品出荷額: 433億4千万円
③従業員数	1,135人(構内請負会社従業員を含む)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙の通り

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 別紙の通り

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
	【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙の通り

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙の通り

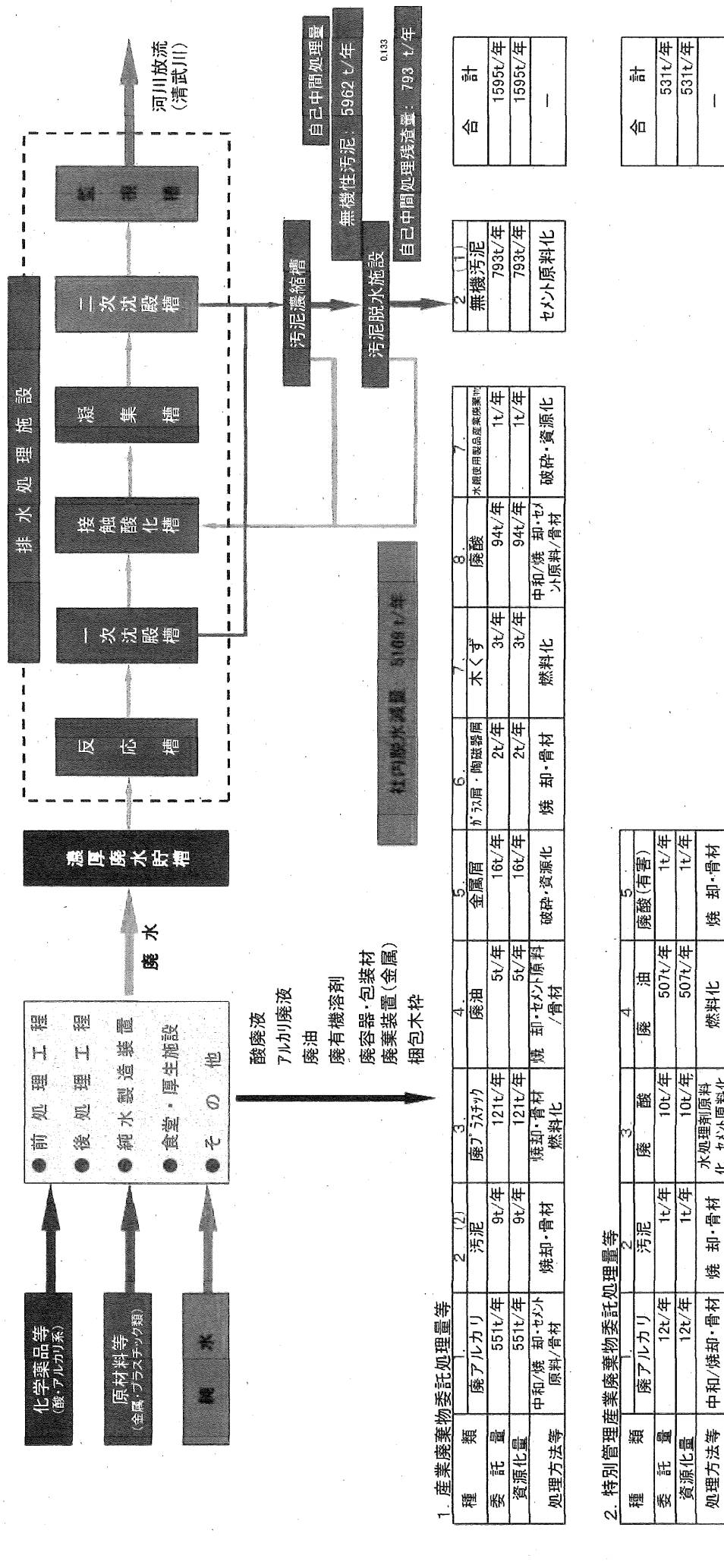
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
	【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙の通り

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	531 t
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェスト導入済み	
※事務処理欄		

廃棄物の発生源及び処理フロー図 [令和4年度概要]



1. 産業廃棄物委託処理量等

種類	1. 廃アルカリ	2. 汚泥	3. 廃アルカリ	4. 廃油	5. 金属屑	6. ガラス屑・陶磁器屑	7. 木くず	8. 廃酸	9. 水処理用製品・産業廃棄物
委託量	55t/年	9t/年	121t/年	5t/年	16t/年	2t/年	3t/年	94t/年	1t/年
資源化量	55t/年	9t/年	121t/年	5t/年	16t/年	2t/年	3t/年	94t/年	1t/年
処理方法等	中和/焼却・セメント原料/骨材	焼却・骨材	焼却・骨材 燃料化	焼却・セメント原料/骨材	破碎・資源化	焼却・骨材	燃料化	中和/焼却・セメント原料/骨材	破碎・資源化

2 (1)	無機汚泥	793t/年
	793t/年	
合計	1595t/年	
	1595t/年	
	—	

2. 特別管理産業廃棄物委託処理量等

種類	1. 廃アルカリ	2. 汚泥	3. 廃酸	4. 廃油	5. 廃酸(有害)
委託量	12t/年	1t/年	10t/年	507t/年	1t/年
資源化量	12t/年	1t/年	10t/年	507t/年	1t/年
処理方法等	中和/焼却・骨材	焼却・骨材	水処理剤原料 化、セメント原料化	燃料化	焼却・骨材

合計	531t/年
	531t/年
	—

1. 環境方針

当社は、ローダグループ環境マネジメントシステム (ISO14001) を厳守し環境保全活動を推進していきます。

2. 公害防止に関する組織及び管理体制

1 組織

2023. 4月現在

選任者等	代表取締役社長	取締役 工場長	施設管理部	
			施設管理部長 宮崎施設技術グループ	統括課長 部付
公害防止統括者	木村 偉作夫	●		
公害防止統括者 (代理者)	高橋 辰雄		●	
公害防止管理者 (水質)	岩切 安広			●
公害防止管理者 (水質:代理者)	永岡 龍仁			●
公害防止管理者 (大気)	伊豆 裕太郎			●
公害防止管理者 (大気:代理者)	岩本 昌也			●
産業廃棄物処理責任者	高橋 辰雄	●		
特別管理産業廃棄物管理責任者	赤川 康広			●
浄化槽技術管理者	永岡 龍仁			●

2 管理体制 (主務担当部門等)

項目	防 災 対 策 本 部	施設管理部		
		施設管理部長 宮崎施設技術グループ	環境管理グループ	
大気汚染防止対策		ばい煙発生施設	●	●
		排ガス除害施設	●	●
水質汚濁防止対策		排水処理施設	●	●
		合併処理施設	●	●
騒音及び振動の防止対策		●	●	●
悪臭防止対策		●	●	●
廃棄物処理対策		産業廃棄物中間処理施設	●	●
		保管・委託処理	●	●
環境緑化対策		●	●	●
防 災 対 策	●	●	●	●
事故防止等の措置	●	●	●	●
地下水の保全		●	●	●

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	排出量	12	10	507	1	1
	(これまでに実施した取組) *薬品交換周期の見直しによる廃酸の発生量削減 *廃酸(リン酸)の有価売却による廃酸の削減 *部品の水洗浄からドライ(サント)洗浄への変更によるアルカリ廃液の削減 *廃酸(硫酸)の有価売却による廃酸の削減					
②計画	【目標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	排出量	12	10	521	1	1
	(今後実施する予定の取組) *廃油の有価売却による廃油の削減					

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み) *ISO14001推進活動で、廃棄物管理規定により発生源別分別基準により排出
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み) *廃油の分別により有価売却(廃油のカロリーアップ)



特別産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】					
	特別産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	排出量	12	10	507	1	1
	(これまでに実施した取組) *再生資源化率(ゼロエミ)99%以上					
②計画	【目標】					
	特別産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	排出量	12	10	521	1	1
	(今後実施する予定の取組) *再生資源化率(ゼロエミ)99%以上の維持					

特別産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】					
	特別産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	自ら熱回収を行った特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した特別産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) 該当なし					
②計画	【目標】					
	特別産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 該当なし					

自ら行う特別産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】					
	特別産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	排出量	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) 該当なし					
②計画	【目標】					
	特別産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
	排出量	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 該当なし					

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】					
特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
全処理委託量	12	10	507	1	1
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0	0	262	0	0
再生利用業者への 処 理 委 託 量	12	10	0	1	1
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0	0	507	0	0
(これまでに実施した取組) *再生資源化推進による埋立量低減					

【目標】					
特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸(有害)	汚泥(有害)
全処理委託量	12	10	521	1	1
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0	0	269	0	0
再生利用業者への 処 理 委 託 量	12	10	0	1	1
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0	0	521	0	0
(今後実施する予定の取組) *再生資源化推進(ゼロに99%以上の維持)					

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 集計表

(別紙)

単位:t

産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃酸	廃油	廃酸 (有害)	汚泥 (有害)	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状 (4年度実績)	排出量	12	10	507	1	1	531
②計画 (5年度目標)	排出量	12	10	521	1	1	545
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	自ら再生利用を行う量	0	0	0	0	0	0
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0	0
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0	0
②計画 (5年度目標)	自ら埋立処分を行う量	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状 (4年度実績)	全処理委託量	12	10	507	1	1	531
	内訳						
	優良認定処理業者へ処理を委託した量	0	0	262	0	0	262
	再生利用業者へ処理を委託した量	12	10	0	1	1	24
	認定熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	507	0	0	507
②計画 (5年度目標)	全処理委託量	12	10	521	1	1	545
	内訳						
	優良認定処理業者へ処理を委託する量	0	0	269	0	0	269
	再生利用業者へ処理を委託する量	12	10	0	1	1	24
	認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	521	0	0	521